

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	武蔵村山市自立支援協議会
開 催 日 時	平成29年2月16日（木）午後1時30分 ～午後4時30分
開 催 場 所	市民総合センター3階 集会室
出席者及び 欠席者 （敬称略）	出席者：大沼 眞弓、宮澤 ひとみ、柳 清美、須永 美智子、岩瀬 香世、梶原 勲、大勝 せつ子、押田 友紀子、網代 栄一、大槻 満、高橋 毅、佐々木 久子、加納 敏、武田 文雄、利根川 正、榎本 勝、菅原 幸次郎、平 政隆 欠席者：椎木 俊秀、西山 直美、馬場 均 事務局：松下課長、齋藤主査、木村主査（高齢福祉課）、石川主事、齋藤主事
議 題	<p>1 報告事項</p> <p>（1）第3回武蔵村山市自立支援協議会会議結果について （2）武蔵村山市第四次障害者計画・第五期障害福祉計画の策定のための市民意識調査について （3）高次脳機能障害講演会の開催について （4）武蔵村山市の介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）について （5）サービス事業者部会等の報告について （6）その他</p> <p>2 議題</p> <p>（1）平成29年度自立支援協議会開催日について （2）その他</p>
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1について：平成29年度については計画策定のため、通常会に加えて臨時会を開催することもあることとする。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） ●会 長 ○委 員 ■事務局	<p>●自立支援協議会を開会する。事務局より報告願う。</p> <p>■報告の前に、委嘱期間中ではあるが委員の交代があったため紹介をした。内野委員と代わり、宮澤委員が協議会に出席することとなった。宮澤委員より挨拶を願う。</p> <p>○よろしく願う。</p> <p>●続いて、事務局から会議録の結果について報告頼む。</p> <p>1 報告事項 （1）第3回武蔵村山市自立支援協議会会議結果について</p>

■報告の前に、2点お伝えすることがある。1点目は放課後等デイサービス事業者による虐待が横行しているとの報道がされたことである。市内の事業所においてはそれぞれ特色を持って取り組まれているので、今後も良質なサービスの提供をお願いします。2点目は市長と都知事とのミーティングがあったことである。そこで、地域区分については都からも支援をいただきたい旨の要望を行った。

続いて、報告にうつる。会議録の結果について、修正点等あれば意見を頂きたい。

特段、意見が無いようであればこの会議録を正式なものとする。

●次の報告事項を事務局からお願いします。

(2) 武蔵村山市第四次障害者計画・第五期障害福祉計画の策定のための市民意識調査について

■1,000人に郵送で送付しており、2月3日を締め切りにしているが現在も受け付けはしている。現時点で回収率は56.8%であり、回答結果は報告書として、5月の自立支援協議会に提出する。

●結果が出た時は、委員の皆にも目を通してもらいたい。
事務局より報告をお願いします。

(3) 高次脳機能障害講演会の開催について

■高次脳機能障害講演会を3月9日に行う。今回、チラシをお配りするので各事業所、団体においても周知を図っていただきたい。

●質問等なければ次の報告事項へうつる。

(4) 武蔵村山市の介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）について

■4月1日より総合事業が開始となる。そこで、高齢福祉課の木村主査より説明を願う。

- 総合事業について説明 -

・メリットとしては地域の実情居合わせてサービスの選択が可能となる。市の認定ヘルパーを利用することで、人材の確保や利用者が費用を安く済ませることができる。

・サービスの内容に変更はないが、手続きにおいて変更となる。

・対象者が本当に必要なサービスを必要な量だけ支給していく。

●部会報告をお願いします。

(5) サービス事業者部会等の報告について

○訪問系サービス事業者部会の報告を行う。今年度は市民に向けてヘルパー不足を訴えるためにパネルディスカッションを行ったが、市民の参加はほとんどなかった。

周知が足りないと感じた意見があった。また、部会の開催日の調整などをして部会員全員がそろそろようにすべきとの意見も上がった。
部会内で出た、要望事項を上げていきたいのだがどのような手順を踏むのか確認したい。

●部会内で意見を揉んで協議会で検討し、会長名で要望書を作成し、市長に提出して訴えていくこととなる。
ここで、休憩とする。

- 休憩 -

●日中活動系サービス事業者部会より報告願う。

○農園を利用した就労支援について市から説明を受けた。
障害者差別解消法について弁護士の先生を招いて研修を行った。二日で44名が参加した。また、事業者間での相互見学会を継続している。

●意見等はあるか。
積極的な活動が行われているので継続してもらいたい。
居住系サービス事業者部会より報告願う。

○新たな事業者が部会に参加し、利用者のアセスメントシートについて議論した。今後もアセスメントシートについて話し合うつもりである。

●自立支援協議会について疑義が上がっているようだが、こういった内容か。

○自立支援協議会が報告だけの場になっているように感じる。もっと、障害者施策について話し合う場だと考えていた。

●各部会で研修や啓発活動も大切なことのひとつなので継続して取り組んでほしい。まずは、協議会で協議すべき事項を部会内で検討してほしい。
続いて、相談支援事業者より報告願う。

○相談支援事業者部会は東大和市の相談支援事業者部会と合同で話し合った。
訪問系サービス事業者部会と合同で情報の共有などを行った。

●合同部会は何名参加したのか。

○16名ほど参加した。

●新たに事業所が参加したのか。

○そのとおりである。1つの事業所が新たに参加した。

○同行援護の利用を希望されている方は何名いるのか。

○現状、分からないので、具体的に人数が分かる資料の作成をしたい。

●ヘルパーの成り手が少ないので、市として工夫できないだろうか。

○掲示板などを作成して、市民同士でお手伝いできる人とヘルパーに入っ
て欲しい人、お互いにやり取りをしていただくのはどうか。

■この場で返答ができないので、検討して返答したい。

○市はどのようにして、ヘルパーが不足しているかどうかを確認している
のか。

■他市とのやり取りや部会からの報告、事業所と利用者からの声を受けて
確認している。

○資格がなければできない仕事であるため、市の方で研修の告知をしても
らいたい。

●市の方で策を検討してもらいたい。

■承知した。

●放課後等デイサービス事業者部会より報告をお願いします。

○障害児支援計画を作成できる事業者が市内で少ないため、保護者の方と
一緒になってセルフプランの作成を行っている。

市内の放課後等デイサービス事業所は日々定員の上限が少なく、より市内
の方を受け入れたいが難しい。

●どこの事業所も定員を超えて受け入れているのか。

○その通りである。

市内在住の方が他市の事業所を利用しており、移動時間ばかりかかってし
まい利用時間が短くなっている。

○市内には、いくつ事業所があるのか。

○4法人5事業所となっている。日々定員は55人ほど

●児童発達支援の事業所はあるのか。

○現在は無い。

●他に質問はあるか。

障害者の暮らしを考える部会から報告をお願いします。

○市内の歩道・道路についてアンケート調査を実施して、市へ要望や意見
を伝えていく。

●アンケートはどこへ向けて配布していくのか。

○自立支援協議会委員を中心に投げかけていく予定である。

	<p>内容に関しては、障害福祉課と協議して決めたいが、現状修正点等あるだろうか。</p> <p>●特に無いようなので、このまま進めてもらいたい。 働くを考える部会より報告を願う。</p> <p>○障害者のための就職準備講座を検討している。また、来年度も職場見学会を検討している。</p> <p>●質問等なければ、議題に入る。</p> <p>2 議題 (1) 平成29年度自立支援協議会開催日について</p> <p>■来年度は計画策定の関係で5月25日(木)、8月24日(木)、10月18日(水)、11月8日(水)、2月15日(木)の開催に加えて臨時で開催することもあるので確認いただきたい。</p> <p>●来年度は計画策定の時期であるため、開催回数が増えるがよろしくお願いたい。他になければこれで終わりとする。ご苦勞であった。</p>
--	--

会議の公開・非公開の別	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 ()	傍聴者： _____ 人
-------------	--	--------------

会議録の開示・非開示の別	<input type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等： _____) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等： _____)
--------------	--

庶務担当課	部	課 (内線： _____)
-------	---	----------------

(日本工業規格A列4番)